

緊急事態はいつ、どこで発生するか全く予想する事ができないため、慌てず適正な行動をとるためには、日ごろから対応方法を十分確認しておく事が必要である。

p.100に対応フローを例示するが、緊急事態の発生時間帯や状況によりとるべき行動が異なるため最終的には当事者、発見者の判断に委ねられる。緊急事態発生時は、以下の事項を念頭に置きつつ例示した対応フローを参考に判断していただきたい。

■ 生死に関わる事故 ■

- ・大声で近くにいる人に助けを求める
- ・被害者の救命処置と救急連絡を最優先する

■ 火災 ■

- ・「火事だ!!」と大声で叫び周囲に知らせる
- ・炎が小さい場合は、身近にある消火器により初期消火を行う
- ・消火不能の場合は、至急避難する
- ・火災報知器を押す

■ 時間帯による連絡先の判断 ■

- ・通常時間帯(人がたくさんいる時間帯)の場合
周囲に手助けを求め、手分けをして以下の対応を行う
 - 救護作業
 - 警備員室へ連絡
 - 指導教員、周囲の教職員へ連絡
- ・深夜、休日ではほとんど人がいない場合
警備員室へ連絡

■ 指導教員への連絡 ■

- ・指導教員に必ず連絡し、指示を仰ぐ
- ・指導教員が不在の場合は学科内の教員へ連絡する

2

緊急設備・避難経路の事前確認

■ 確認事項 ■

自分が実験を行っている場所からの避難経路(2経路以上)、避難場所を日頃から各々が確認しておく
緊急用設備(消火器、火災報知器、消火栓、緊急シャワー等)の設置場所と使用法を把握しておく
AED の設置場所と使用法を把握しておく

■ 注意事項 ■

非常口、防火扉、防火シャッターの前には物を置かない
消火器、火災報知器、消火栓の周りに物を置かない
消火器は所定の場所から動かさない

■ 避難訓練に関する情報 ■

参考) <http://www.fdma.go.jp/html/data/tuchi1603/160305an31.html#b> , (2018.7.9 現在)



消火器



緊急シャワー



火災報知器&消火栓












AED



非常口

3

119番への通報はあわせて正確に！

	火事の場合	救急の場合
 119番 (消防)	「はい、こちら〇〇消防です。火事ですか？救急ですか？」	
 通報者	「火事です！」	「救急です！」
 119番 (消防)	「住所を詳しく教えてください。」	
 通報者	「△△△の東京理科大学 〇号館 〇階です。」	
 119番 (消防)	「どこで何が燃えていますか？」	「どうしましたか？」
 通報者	「〇〇研究室で●●が燃えています。」 (薬品名・有機溶剤名などを明確に)	「実験中の学生が倒れています。呼びかけても応答がありません。」
 119番 (消防)	「あなたのお名前と電話番号を教えてください。」	
 通報者	「名前は〇〇〇〇です。電話番号は××××です。」 (通報者に繋がる電話番号)	
 119番 (消防)	「はい、わかりました。 消防車を出動させます。」	「はい、わかりました。 救急車を出動させます。」

参考) <http://www.kuji-kouiki.jp/syobo/119.html> , (2018.7.9 現在)

■ 消防への連絡のポイント ■

<神楽坂・葛飾キャンパス> 119番通報は、東京23区では千代田区大手町の消防指令センターへつながります。このため、大学の住所、号館、階数を正確に伝え、落ち着いて状況を伝えることが重要です。

<野田キャンパス> 野田市内から携帯電話で119番通報すると、一般電話の119番通報と同様に野田市消防本部につながりますが、電波の特性から隣接する市町に接続されることもあります。その場合、受信した消防本部から管轄消防本部へ転送されますので、電話は切らないようにして下さい。

- 二次通報も大切です。一次通報で伝えきれなかったこと、あとから分かったことなどを適切に伝えて下さい。火災であれば引火状況、救急であれば傷病者の状態などを伝えることが有効です。

4

緊急時連絡先一覧

研究室関係

連絡先	内線	外線
_____ 研究室		
_____ 先生		
_____ 先生		

警備員室・保健管理センター・中毒 110 番

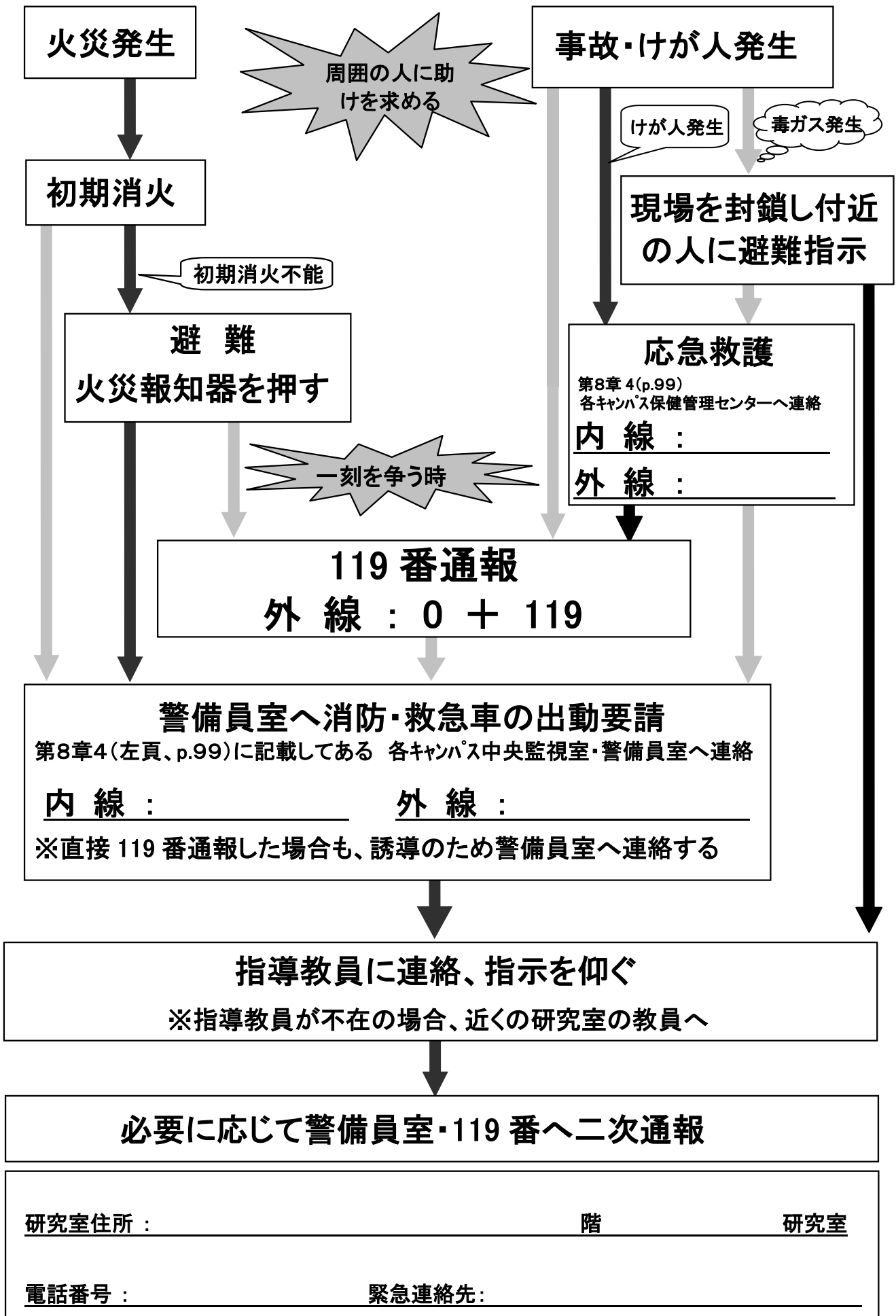
連絡先	内線	外線
神楽坂キャンパス		
2号館 1F 警備員室	2000	03-5228-8150
5号館 1F 警備員室	5000	03-5228-8381
10号館 1F 警備員室	300 (10号館からのみ)	03-5225-3160
保健管理センター(1号館 1F)	1645	03-5228-8129
野田キャンパス		
2号館 2F 警備員室	2021	04-7124-1501 + 2021
10号館 1F 警備員室	2024	04-7122-1141
15号館 2F 警備員室	6415	04-7121-3692
生命研 1F 警備員室	6103	04-7121-3696
保健管理センター(9号館 1F)	2027	04-7122-5297
葛飾キャンパス		
中央監視室(講義棟 1F)	2000	03-5876-1717
保健管理センター(講義棟 1F)	2175	03-5876-1592
中毒 110 番・消防・救急		
つくば中毒110番(9:00~21:00)	0+029-852-9999	029-852-9999
大阪中毒110番(24時間対応)	0+072-727-2499	072-727-2499
消防・救急	0 + 119	119

環境安全センター・管財課・環境安全管理室・各キャンパス施設課(代表番号)

連絡先	場所	内線	外線
神楽坂 環境安全センター	5号館 1F	5810	03-5228-8376
神楽坂 管財課	9号館 5F	1697	03-5228-8110
神楽坂 環境安全管理室	9号館 5F	1760	03-5228-8110
野田 環境安全センター	2号館 1F	2187	04-7122-9597
野田 野田施設課	1号館 3F	2120	04-7125-0609
葛飾 葛飾施設課	研究棟 1F	3430	03-5876-1751
葛飾 環境安全管理室	研究棟 1F	1281	03-5876-1581

5

緊急事態発生時の対応フロー



6

応 急 手 当

やけど



応急手当

- 1 患部を緩やかな流水で冷やす。
- 2 十分に冷やしたら清潔なガーゼで患部を緩く包む。



- ・ 皮膚と衣服が癒着している場合は無理に脱がさない。
- ・ 水疱ができてても破らない。
- ・ 酸やアルカリによるやけどは通常のやけどとは異なり重傷度がわかりにくいので、流水で十分に冷やした後保健管理センターで適切な処置・指示を受ける。

中毒



応急手当

- 1 自分自身の安全を確保する。
- 2 負傷者を現場から離して、新鮮な空気のある屋外に出す。
- 3 衣類を緩め、呼吸が楽に出来るようにする。
- 4 **応急手当は「中毒110番」に指示を仰ぐ。**
- 5 吸引したガスの種類などを確認する。
- 6 意識不明の場合は、至急119番(p.98 「119番通報」参照)



つくば中毒110番 : 029-852-9999 (9:00~21:00)

大阪中毒110番 : 072-727-2499 (24時間対応)

<http://www.j-poison-ic.or.jp/homepage.nsf>, (2018.7.9 現在)

- ・ 爆発の危険も考えて電気スイッチやコンセントプラグに手を触れない。

誤飲



応急手当

- 1 何を飲んだかで応急手当が異なる。
「中毒110番」に指示を仰ぐ。
- 2 飲んだ時刻、薬物の種類、量などを確認する。
- 3 意識不明の場合は、至急119番(p.98「119番通報」)



「中毒110番」へ連絡!!



つくば中毒110番 : 029-852-9999 (9:00~21:00)

大阪中毒110番 : 072-727-2499 (24時間対応)

<http://www.j-poison-ic.or.jp/homepage.nsf>, (2018.7.9 現在)

出血



応急手当

- 1 傷口に異物や汚れ、薬品などが付着している場合は、流水で洗う。
- 2 出血している部分に清潔なガーゼなどを当てて片手で圧迫する。
- 3 出血量が多い時は両手で強く圧迫する。



- ・ ティッシュペーパーや脱脂綿は、傷口に繊維質が残るので用いない。
- ・ 輪ゴムで縛らない。

目の異物



応急手当

- 1 指でまぶたを開いて弱めの流水で洗い流す。(10分以上)
- 2 ハンドタオルなどで円座をつくり、異物の入った目の周りに当て、その上から両目を包帯で巻く。
(まばたきで症状を悪化させる恐れがあるため眼球を固定する。)
- 3 応急手当後、すぐに眼科を受診する。



- ・ 絶対に擦らないようにする。
- ・ 目薬をささない。
- ・ 眼科を受診する際、薬品が特定できるようなメモ(SDSなど)を持っていく。